

国体女子広島県予選結果報告

広島大学体育会バレーボール部同窓生の皆様

(同窓会連絡フォームへ登録いただいた皆様及び同窓会やコートの仲間等でご連絡いただいた皆様へお送りしています。)

いつも大変お世話になっております。

広島大学体育会バレーボール部です。

昨日、広島県猫田記念体育館において、国体女子広島県予選が開催されました。

広島大学女子の結果は、以下のとおりです。

1 回戦 vs 広島文化学園大学

●0-2 (17-25、14-25)

(広大バレー部 Twitter)

<https://twitter.com/hirodaiVOLLEY>

中四国の再戦となり、チームの実力を測る絶好の機会となりました。前回は18点まで得点を伸ばしましたが、今回もサーブで崩し、粘り強いブロックでラリー負けせず、今できることは全部やった素晴らしい内容でした。中四国がブロックでないことを確認できたことは、大きな自信となってチームの成長を加速させてくれそうです。

エースの有川は、レシーブは粗削りながらもボールを取りに行く積極的な姿勢で、コート外のワンタッチボールを拾うなど守備範囲が日に日に広がっています。また、声は誰よりも出しているだけではなく、指示が非常に分かりやすいため、他のプレーヤーにとってバレーボールがやりやすい状況を作り出しています。

また、成長株の有馬がボールを触ったラリーの得点率が非常に高く、ライトから決めた1本は、1部でも通用する価値ある1本だったと思います。リーグ戦では見られなかった大前の速攻も決まり、コート9mを使った幅のある攻撃は見違えるほどになりました。ブロックも1年生の東が対応力を見せるなど、昨年、金尾先生に教えていただいた練習をコツコツ取り組んできた成果が表れていました。

ただ、相手のサーブが弱く、軟打ではなく強打で攻めてきたからこそ、一定の手応えを感じたことは理解しておかなければいけません。フェイントをされていたら失点していた場面

が数多くあったため、ブロッカー以外のプレーヤーの動きや拾った後の攻撃はもっと詰めていかなければなりません。

今はできることが限られているため、シンプルにバレーボールが出来ていますが、1部チームに勝てるほど何かを成し遂げたわけではありません。勝負しなければいけないステージはもっと先、はるか先にあるので、上半期はとにかく階段を駆け上って、夏のスタートラインを上げて欲しいと思います。

6/23からは、まずは女子の西日本インカレが3年ぶりに開催されます。
2020年以降、初めての有観客試合となりますので、会場でもご声援いただけますと幸いです。

6月23日(木) ベイコム総合体育館メインアリーナgコート第4試合(13時頃開始予定)
予選1回戦 vs 兵庫大学
(敗れた場合:メインアリーナfコート第6試合)
予選2回戦 vs 明治国際医療大学と至誠館大学の試合の敗者

(ベイコム総合体育館アクセス)

<https://www.aspf.or.jp/park/access.html>

引き続きよろしく願いいたします。